様式４の３

一般財団法人　滋賀県民間社会福祉事業職員共済会
地域共生型社会推進事業助成金

事業完了報告書（公開用）

１、概要

報告日	西暦　２０２２　年　４　月　２２　日
報告者	澤　とし江
助成団体名 （所属団体名）	おうみこっとん夢つむぎ
団体住所	〒　５２１－１１３３ 滋賀　都道府県　彦根市本庄町２４７９
団体電話番号	０７４９　―　４３　―　７２０１
代表者 （助成対象者）	澤　とし江
助成対象事業	綿づくりを通して人の輪を広げよう
事業（助成）期間	2019　年　4　月　1　日 ～　2022　年　3　月　31　日
事業費総額	１，１７４，６０３　円
助成金総額	１，０００，０００　円

※住所・電話番号等は団体のものを記載し、個人情報に関わることは記載しないでください。

次ページ以降に「事業内容」、「事業成果」、「今後の課題など」を簡潔に記載してください。

注意事項

①共済会ホームページに掲載しますので**個人情報の掲載は禁止**します。

②「事業内容」、「事業成果」、「今後の課題など」は**合計５ページ以内**で作成してください。

③**写真の掲載は原則禁止**しますが、どうしても必要な場合は最小限度に留めてください。

④写真を掲載される場合は必ず撮影対象の方に事前に了承を頂くようお願いします。

⑤必ず Word ファイルのまま shigakyo@cello.ocn.ne.jp へメールにてお送りください。

２、事業内容

（１）綿の栽培

2019～2021 年 4 月下旬～5 月中旬：畑(ﾏﾙﾁ敷き）・種まき準備、5 月：種まき、5～9 月：草取り・草刈り、7～8 月：支柱立て、9～12 月：綿つみ、３月：綿の木の抜き取り、3 月：ﾏﾙﾁ撤去・畑整地

（２）ｲﾍﾞﾝﾄ開催）

2019 年 5 月 5 日：種まきｲﾍﾞﾝﾄ開催　参加者　10 人

実施内容：綿のポット苗の定植、水やり、地元食材を使った地産地消の昼食、参加者の交流、綿の加工体験（綿くり、糸車、ｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙ、さおり織り、機織り）、段ﾎﾞｰﾙを使ってのｺｰｽﾀｰづくり（以下「ｺｰｽﾀｰづくり」）

2019 年 10 月 13 日：綿つみｲﾍﾞﾝﾄ開催　参加者　17 人

実施内容：綿つみ体験、地元食材を使った地産地消の昼食、参加者の交流、綿の加工体験（綿くり、糸車、ｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙ、さおり織り、機織り）、ﾘｰｽづくり

2019 年 11 月 10 日：綿つみｲﾍﾞﾝﾄ開催　参加者　12 人

実施内容：綿つみ体験、地元食材を使った地産地消の昼食、参加者の交流、綿の加工体験（綿くり、糸車、ｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙ、さおり織り、機織り）、ｺｰｽﾀｰづくり

2020 年 2 月９日：手織りｲﾍﾞﾝﾄ（ﾘｰｽづくり）開催　参加者　7 人

2020 年 3 月８日：手織りｲﾍﾞﾝﾄ（さおり織り）開催　参加者　5 人

※2020 年 5 月の種まきｲﾍﾞﾝﾄは新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染拡大防止のため開催せず

2020 年 10 月 24 日：綿つみｲﾍﾞﾝﾄ開催　参加者 12 人（参加者数を縮小して実施）

実施内容：綿つみ体験、地元食材を使った地産地消の昼食、参加者の交流、綿の加工体験（綿くり、糸車、ｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙ、さおり織り、機織り）、ﾘｰｽづくり

2020 年 11 月 1 日：綿つみｲﾍﾞﾝﾄ開催　参加者 14 人（参加者数を縮小して実施）

実施内容：綿つみ体験、地元食材を使った地産地消の昼食、参加者の交流、綿の加工体験（綿くり、糸車、ｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙ、さおり織り、機織り）、ｺｰｽﾀｰづくり

2021 年 3 月 2 日：ﾐﾆｲﾍﾞﾝﾄ（段ﾎﾞｰﾙを使ってのﾀﾍﾟｽﾄﾘｰづくり）開催　参加者 4 人

※2021 年 5 月の種まきｲﾍﾞﾝﾄは新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染拡大防止のため開催せず

2021 年 11 月 7 日：綿つみｲﾍﾞﾝﾄ開催　参加者 10 人（参加者数を縮小して実施）

実施内容：綿つみ体験、地元食材を使った地産地消の昼食、参加者の交流、綿の加工体験（綿くり、糸車、ｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙ、さおり織り、機織り）、ﾘｰｽづくり

（３）修学旅行受け入れ

2019 年 5 月 29 日～5 月 30 日　横浜市立大津中学校 2 年生男子 4 人

実施内容：綿のポット苗の定植、水やり、綿の加工体験（綿くり、糸車、ｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙ、さおり織り）

※2020 年、2021 年は新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽで受け入れなし

（４）ﾏｽｸの寄贈

2020 年 4 月 30 日：彦根市へ「おうみこっとん布製ﾏｽｸ」200 枚を寄贈した。

（５）綿の加工

2020 年 10 月に大正紡績にｽﾀｯﾌ 3 人が 1 泊 2 日で出かけて、大型の綿くり機を借用して、今まで栽培した白綿 200kg と緑綿 200kg の綿くりを行った。大正紡績の従業員にも手伝って

貰ったが 25kg 残り、残りの綿くりは大正紡績にお願いした。綿くり後の綿は、大正紡績で糸にして布に加工して頂くよう委託契約を締結した。

（６）環境・ものづくり教育

2019 年 7 月 23 日：視覚障害者　10 人

実施内容：ｺｰｽﾀｰづくり

2019 年 10 月 24 日：多賀小学校　児童・先生　9 人

実施内容：綿つみ、綿の加工体験（綿くり・糸車、ｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙ、さおり織り、機織り）、ﾘｰｽづくり

2019 年 11 月 13 日～11 月 15 日：彦根西中学生（特別支援学級生）1 人

実施内容：綿つみ、ﾘｰｽづくり、ｺｰｽﾀｰづくり

2019 年 11 月 19 日：豊郷町商工会会員　3 人

実施内容：綿つみ

2020 年 10 月 7 日：goto ﾄﾗﾍﾞﾙ事業（稲枝商工会女性部体験ﾂｱｰ）　11 人

実施内容：綿つみ、ﾘｰｽづくり

2020 年 10 月 8 日：goto ﾄﾗﾍﾞﾙ事業（米原商工会体験ﾂｱｰ）　4 人

実施内容：綿つみ、ﾘｰｽづくり

2021 年 1 月 26 日：稲枝西小学校 1 年生　児童・先生　26 人

実施内容：糸車・ｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙ体験

2021 年 10 月 7 日：稲枝商工会女性部「元気を届ける交流事業 in 稲枝」受け入れ　7 人

実施内容：綿つみ、ﾘｰｽづくり

2021 年 11 月 18 日：彦根市女性農業委員視察研修受け入れ　7 人

実施内容：綿つみ、ﾘｰｽづくり

（７）外部ｲﾍﾞﾝﾄへの出店

2019 年 11 月 10 日：滋賀県立大学第 25 回湖風祭に出展

2020 年９月 27 日：ｱﾙﾌﾟﾗｻﾞ草津での物産展に出店

2022 年１月 5.6 日：ｱﾙﾌﾟﾗｻﾞ草津での滋賀商工会女性部ﾃﾅﾝﾄｼｮｯﾌﾟに出店

2022 年 3 月 2～6 日：「ファブリカ村からのおくりものⅥ・ハートフル」（近鉄百貨店草津店）に出店

（８）TV 出演

2021 年 2 月 6 日：びわこ放送「滋賀経済 NOW」収録（2 月 13 日放送）

（９）彦根市ふるさと納税返礼品

2019 年５回注文・発送、2020 年５回注文・発送、2021 年２回注文・発送

（10）商品・ｷｯﾄ等販売

ｲﾍﾞﾝﾄ時など、年間随時行っている。

2021 年からよつ葉ﾎｰﾑﾃﾞﾘﾊﾞﾘｰに掲載して頂き、販売することになった。

３、事業成果

イベントの開催や、種まき・綿つみ・加工体験の受け入れを通じて、無農薬の綿を栽培することで、CO2 の削減・酸素の増加・環境の保全に資するとともに、綿製品の販売・使用により石油製品の購入・使用を減少させることができた。

参加者に綿づくり・綿体験を通して自然の綿に直接触れて貰うことで、綿に対する関心を高めるとともに、環境保全に関する啓発を行った。

綿の栽培や草刈り作業、イベント時の昼食の準備等に地元住民の方々やﾎﾞﾗﾝﾃｨｱの協力を得て行うとともに、イベントでは参加者の子どもや若者等との交流を図り、地域振興に結びつくよう努めた。

イベント時の昼食は、地元食材（赤こんにゃく、丁字腐、えび豆、野菜等）を使ったものを提供し、地産地消に努めるとともに、伝統的な料理を紹介することにより参加者の理解を深めた。

新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽの影響で 2020 年以降は修学旅行の受け入れはなかったが、稲枝商工会、米原商工会の goto ﾄﾗﾍﾞﾙ事業、稲枝商工会交流事業、彦根市女性農業委員視察研修を受け入れたり、多賀小学校、彦根西中学校の体験学習を受け入れ、地元の小学校で国語の教科書に出てくる糸車を見せて、同じ原理のｽﾋﾟﾝﾄﾞﾙを児童に体験して貰った。

地元銀行の紹介で、びわ湖放送の番組の取材を受け経済番組で放送された。

また、彦根市のふるさと納税返礼品として注文を受け、発送することで、地域振興に結びつくよう努めており、新たによつ葉ﾎｰﾑﾃﾞﾘﾊﾞﾘｰに掲載して頂き、こだわり商品として販売することになった。

４、今後の課題など

地元住民の方々やﾎﾞﾗﾝﾃｨｱの協力を頂き、何とか畑の管理を行ってきたが、ｽﾀｯﾌの年齢が上がってきたことや、家庭事情からｽﾀｯﾌを辞められる方もあり、畑の管理が大変になってきて、作業量も限界に近いため、収穫できる綿の収量は減少するが、2021 年度から畝を 8 列から 6 列に減らすこととした。活動に加わって頂ける方もおられるが、ｽﾀｯﾌになって頂けるところまでは至っていない。

また、新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽの感染拡大防止のため、ｲﾍﾞﾝﾄの開催については、中止も含めて十分検討し、参加者数を縮小して感染対策に十分配慮して実施してきた。修学旅行も中止となり、その他の体験の受け入れも減少してきているが、終息までは畑作業以外の活動については縮小せざるを得ないと考えている。

ｽﾄｯｸしてきた綿が増えてきたので、大正紡績に布に加工を委託し、助成金で購入したﾐｼﾝ糸やﾎﾞﾀﾝを使って商品（製品）を制作するとともに、作成したﾊﾟﾝﾌﾚｯﾄを活用して販売に努め、購入した包装紙や箱で一層の販売促進につなげていきたい。

また、ふるさと納税返礼品やこだわり商品として、滋賀ｱｲｽﾃｰｼｮﾝとも連携し、販売を拡大していきたい。